

学力向上は日々の授業の充実から

～ 分かる喜びや、考える楽しさを実感させる授業をめざして ～

みやざきスタイルの国語の授業

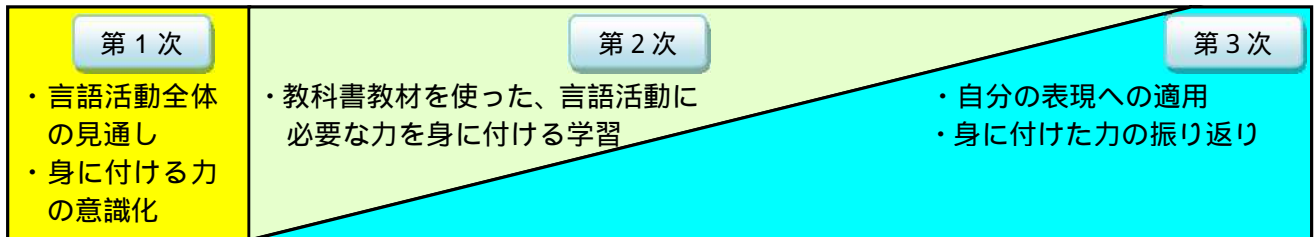
「単元を貫く課題解決的な言語活動を位置付けた」授業を

ポイント
1

単元全体を見通して意図的、計画的、継続的に単元を貫く課題解決的な言語活動を位置付けて指導計画を立てる。

〔 単元のイメージ（例） 〕

単元を貫く言語活動



ポイント
2

1時間の授業の中で、指導事項をより重点化し、目的意識を明確にした展開や、学習内容及び身に付けた力等を振り返る活動を工夫する。

授 業 で 心 が け た い こ と	
導 入	<p>ねらいを明確に</p> <p>指導事項と関連のある学習課題（めあて）を提示し、学習の目的意識を明確にする。 読みの視点や調べる視点等の学びの視点を明示し、学習の進め方への見通しをもたせる。</p>
展 開	<p>考える・表現することを意識して</p> <p>学習課題について、自力で解決する場と相互に話し合う場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 書かれていることから情報を取り出す発問と、取り出した情報を基に考える発問を位置付ける。 話し合いを充実させるために、話し合いの前に、話し合う目的（考えをまとめる、考えを広げる等）や内容を確認する。 <p>自分の考えを条件に合わせてノート等に書く活動を設定する。</p>
終 末	<p>ねらいの達成を確実に見届けて</p> <p>学習内容や成果を振り返る場を設定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> キーワード等を基に、学習内容を自分の言葉でまとめさせる。 学習課題に即した力をどの程度身に付けることができたか、自己評価や教師による見届けを行う。

子どもが言葉を通して、主体的に「考えたい」「表現したい」という思いをもつことができる学習指導を工夫する。

思考力・判断力・表現力を育成する

子どもたちが目的をもって思考し、話す、聞く、書く、読む力を高めることが大切です。

例えばこんな言語活動を...

小学校

- ・ 読んだ本の好きなどところを紹介する
- ・ 簡単な手紙に書く
- ・ 調べたことを報告文に書く
- ・ 出来事を説明するスピーチをする
- ・ 記事の書き方などに注意して新聞を読む
- ・ 調べたことなどについて討論する

中学校

- ・ 行事等の案内や報告をする文章を書く
- ・ 物語を読み、感想を交流する
- ・ 論説などの情報を比較して読み、書く

各学年の指導事項と結び付いた言語活動、興味・関心をもって取り組める言語活動を設定することが重要です。

導入では、モデルとなる言語活動を提示するなど、**単元全体の見通し**をもたせること、展開では、言語活動を通して**ねらいとする国語の力を育成**することを意識した指導計画を設定することが重要です。

読書活動につながる学習を...

教科書教材での学びを、他の図書においても活用できるような指導計画を、必要に応じて設定する。

複数の資料を基に、情報を比較したり、書かれている内容から共通点を見い出したりするなど、多様な図書資料の活用を図り、情報を関係付けながら考える指導を工夫する。

自分の考えを表現させる学習場面を設定する。

表現することを通して考えを確かなものに...

【指導の基本】

考えたことや感想を伝えるための語彙や表現について指導する。

話し合いを充実させるために、話し合いの前に話し合う目的や内容を確認する。

ノート等を書く時間を設定し、一人一人が考える時間を保障する。

ノート等、考えを表現した物を媒体として互いの考えを交流し合えるようにする。

文字数を制限したり、重要語句等のキーワードを使用したりするなど、条件に合わせて、自分の考えを記述させる機会を大切にする。

1時間1時間の授業で、学び方や学習技能を身に付けさせる。